

**第 53 回（2022 年度）**  
**三菱財団社会福祉事業並びに研究助成**  
**応募要領**

以下の要領で 2022 年度の助成を公募致します。皆さまの積極的なご応募をお待ちしています。

**1. 助成の趣旨**

本財団は、わが国福祉の向上に資することを目的に、現場における社会福祉に関する事業／活動及び社会福祉に関する科学的調査研究を幅広く支援します。

**2. 助成の対象**

**① 事業・研究の内容**

- イ. 事業／活動： 社会福祉を目的とし、社会的意義があり、他のモデルとなることが期待できるような、民間の事業／活動（法人・団体に限る）。  
なお、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している人々を支援する事業を行う NPO 法人、社会福祉法人等についても、昨年度に引き続き積極的に支援します。
- ロ. 調査研究： 開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究（個人・法人・団体いずれも可）。

〈注〉 1 イ. 事業／活動 においては、実現可能性の高い、以下のような内容の応募を期待します。

- i) 新たな視点に基づき展開される事業／活動（新規性）
  - ii) 他地域や他の活動分野への普及・発展が期待できる事業／活動（モデル性）
  - iii) 福祉現場における“地域性・個別性”が高く、“実践的、草の根的”な事業／活動
  - iv) 現行制度上、公の援助を受けがたい事業／活動
- 2 ロ. 調査研究 における“開拓・実験性”としては、新たな視点に基づき展開され、社会的意義があり、また、類似例への適用や普遍化の可能性に繋がるもの、等を期待します。
- 3 外部委託が著しく、研究者・事業者の主体性が損なわれるような事業・研究は、助成対象となりません。
- 4 倫理、個人情報保護等の法規定や精神を十分に踏まえたものであることが必要であり、該当する場合は説明をお願いします。
- 5 なお、上記 イ. 事業／活動、ロ. 調査研究 の中でも、下記の「連携・協働型」に関しては助成要件がより柔軟になります。

＜「連携・協働型」とは＞

社会福祉事業者／活動者等と研究者、または異なる専門領域の複数のメンバーの

方がチームを形成し、同一の社会課題に対し、より多角的に、ダイナミックに挑戦する提案型の応募です。

具体的には、下記の類型 1.または類型 2.にあてはまる応募内容の場合、助成申込書作成時に「連携・協働型」の該当欄にチェックを入れ、申請して下さい。なお、「連携・協働型」にあたるか否かについてはホームページにあります「連携・協働型について」を参考の上、ご判断下さい。

#### <類型 1.> 研究・事業活動連携型

- ・一つの社会課題に対し、社会福祉事業者／活動者と研究者がチームを組んで、各々の役割分担を明確にし、各々が有するノウハウ、経験を結集することで、より有効で具体性のある解決策を求めるものです。
- ・研究と実践の壁を取り払い、一気通貫で課題解決の糸口を探る取り組みを想定しています。
- ・チームに研究者の方と社会福祉事業者／活動者等の双方が含まれることが条件となります。

#### <類型 2.> 複数領域協働型

- ・一つの社会課題解決のために、複数の領域の専門家がチームを組み、課題を多面的に捉えることで、一研究者では成し得ない奥行き感のある成果を期待するもの。
- ・社会福祉事業者／活動者の場合、現在のさまざまな枠組みや縦割りの壁にチャレンジし、よりダイナミックな社会的課題解決を目指す事業／活動にも期待します。意欲的なチーム構成による、既成概念を破るチャレンジに期待します。
- ・同じ研究分野の研究者によるチーム、または同じ業種の事業者によるチームは本類型には含まれませんのでご注意下さい。

応募される案件が上記「連携・協働型」の場合、必ず助成申込書において上記類型の「1. 研究・事業活動連携型」または「2. 複数領域協働型」のいずれかで応募するか申告し、併せて「チームの体制」欄にチーム構成を入力して下さい。

## ② 申込者の資格一般

- イ. 日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの（国籍等は不問）。  
（法人・団体での申し込みは、その法人・団体の代表者からの応募に限ります。）
- ロ. 営利企業等並びにその関係者は、代表研究者、申込法人・団体、協同研究者、実施担当者・関係スタッフ等になれません。
- ハ. 代表研究者、協同研究者、申込法人・団体及びその代表者、実施担当者・関係スタッフは、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者や申込法人・団体の代表者が（他分野も含め）他の応募案件の協同研究者や実施担当者・関係スタッフを兼務したり、協同研究者、実施担当者・関係スタッフが他の応募案件の協同研究者、実施担当者・関係スタッフを兼務することも出来ません（協同研究者、実施担当者・関係スタッフの方には上記の確認も含め、必ず了承を得ておいて下さい）。  
なお、複数応募が判明した場合は、失格となることがあります。

### 3. 助成の概要

#### ① 助成金額

総額 9,000 万円を予定。なお、応募額は 1,000 万円以内とします。

※社会福祉助成の過去 3 年の応募件数と応募総額、1 件当たりの平均応募金額は以下の通りです。

2019 年度 260 件 897 百万円 (平均 345 万円)

2020 年度 174 件 606 百万円 (平均 348 万円)

2021 年度 126 件 512 百万円 (平均 406 万円)

また、過去の助成先と助成金額の一覧は本財団ホームページ助成先一覧

(<https://www.mitsubishi-zaidan.jp/support/list.html>) の「社会福祉事業・研究助成先一覧」に掲載しております。

#### ② 助成金の対象となる経費、対象とならない経費

##### イ. 助成金の対象となる経費

- 1 社会福祉事業活動費
- 2 社会福祉に関する調査研究費
- 3 施設費（建設、設備）
- 4 その他の経費（職員研修費等を含む）

<ご注意事項>

- ・代表研究者・申込代表者に、助成金使用に係わるすべての管理責任を持って頂きます。
- ・代表研究者・申込代表者及び実施担当者・関係スタッフ・協同研究者については旅費等の支払いが可能となります。一方、事業への協力者、研究補助者等へは謝金の支払いが可能となります。

##### ロ. 助成金の対象とならない経費

- 1 社会福祉事業活動費のうち、法人・団体の経常的費用は原則対象外となります。
- 2 社会福祉としての明確な目的が示されず、単なる施設建設、設備・機器購入等自体が目的と見なされる申込は対象外とします。
- 3 代表研究者・申込代表者に対する謝金・人件費の支払いは認められません（旅費等の支払いは認められます）。実施担当者・関係スタッフ・協同研究者に対しても同様です。一方、事業への協力者、研究補助者等への旅費等の支払いは認められません（謝金等の支払いは認められます）。
- 4 事業・研究の実施者が所属する組織の間接経費・一般管理費等は助成の対象外となります。ご留意下さい。

##### ハ. 上記ロ. 1 及び 2 にかかわらず、条件によって助成金の対象となる経費

- 1 助成期間終了後の法人・団体の運営の継続可能性が明示される場合は、社会福祉事業活動費のうち、法人・団体の経常的費用を助成金の使途として認めます。（事業／活動のスタートアップ資金の場合も同様とします。）

- 2 今年度の助成においては、新型コロナウイルス感染症の影響で困窮している人々を支援する事業を行う NPO 法人、社会福祉法人等については、支援事業の資金や法人・団体の経常的費用について、特に配慮致します。
- 3 施設費としては、システム投資等による法人の基盤強化に関する設備費用等は助成金の対象に含みます。

### ③ 助成期間

助成期間は1年を原則としますが、事情により2年間にわたる使用も認められます(2年分の助成申込を一括査定し、助成金は2ヶ年で使用されることとなります)。

## 4. 応募期間

2021年12月23日(木)～2022年1月20日(木) 午後5時

\*上記応募期間内にのみ応募は可能です(締め切り時間厳守のこと)。なお、応募締め切りの直前は、WEBシステムの回線が混雑して送信できない可能性がありますので、お早めにご応募下さい。

## 5. 応募方法

応募にあたっては、別冊「応募手順」に基づき、本財団ホームページ上のWEBシステムでマイページの登録のうえ、手順に従ってWEBシステムで応募して下さい。

[ホームページアドレス] <https://www.mitsubishi-zaidan.jp>

### <応募手順>

- ① マイページの登録
- ② 「助成申込書」の入力・作成
- ③ 「助成申込内容」の作成及びアップロード
- ④ 「最重要論文」のアップロード
- ⑤ 「定款、パンフレット等」のアップロード  
(法人・団体申込みの場合、法人格を有する申請者は定款を必須とします)
- ⑥ 所属機関長承諾書のアップロード(個人申込みで所属機関のある申請者の場合)
- ⑦ 応募申請と受付の確認

### <ご注意>

- ※ 本財団ホームページ上のWEBシステムでの申請のみで応募は完了となります。  
(電子メール、郵送、ご来所、FAXによる応募は受け付けておりません。)
- ※ 応募完了後は助成申込書、助成申込内容、論文の修正・差し替え等は一切できませんので、応募の申請にあたっては必ず内容をご確認下さい。

※「ご応募の際によくある質問と回答」を本財団ホームページ上の「応募 Q&A」に掲載していますので、ご参照下さい。

※ WEB 操作に関するお問い合わせは、原則メールで、

「ヨシダ印刷株式会社 三菱財団サポート担当」

E-mail.       mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp

Tel.           (03) 3626-1307 (平日 午前 9 時～午後 5 時)

までお願いします。その際、マイページを取得されている場合は、ログイン ID を記載して下さい。

## 6. 選考方法・結果通知等

### ① 選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、2022 年 6 月開催予定の財団理事会において正式決定されます。なお、審査の進捗状況についてのお問い合わせには、回答致しかねますので、ご了承下さい。

(選考委員)

水 田 邦 雄 (委員長)

曾 根 直 樹

芳 賀 信 彦

泉 陽 子

妻 鹿 ふみ子

鈴 木 俊 彦

(敬称略)

(専門委員)

助成申込の内容によっては適宜専門委員を委嘱します。

### ② 選考への協力をお願い

所定の申込書、資料に加え、更に詳しい書類等の提出等、選考へのご協力をお願いすることがあります(ご提出頂いた資料等は返却致しかねますので、あらかじめご了承下さい)。

### ③ 面接について

選考の過程で候補となられた方には 2022 年 4 月中旬頃に面接を予定しております。面接対象となられた方には、2022 年 3 月 25 日 (金) までにメールでご連絡させていただきます(面接対象となられなかった方へのご連絡はありません)。なお、面接連絡の有無、審査の進捗状況についてのお問い合わせには、回答致しかねますのでご了承下さい。また、コロナウイルス感染症の状況により、面接日、面接方法等が変更となることがあります。

### ④ 結果通知等

イ. 結果は決定後すみやかに申込者各位宛にメールで通知されます。なお「助成先一覧」は、本財団インターネットホームページ上に掲載するほか、各種福祉関係広報資料(福祉新聞・社協ニュース等)にも掲載を依頼致します。

ロ. 採否の理由についてのご照会には一切回答致しかねますのでご了承下さい。

## ⑤ 助成決定時の義務・条件

- イ. 選考の結果、助成対象者となられた場合は、財団所定の「助成承諾書」を提出頂き、これにより事業・研究の経過あるいは完了報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂きます。
- ロ. 事業・研究の経過・完了報告については、「助成承諾書」において、その一般公開についての同意をお願い致します。
- ハ. 助成金贈呈式を 2022 年 9 月 12 日（月）に予定しています。贈呈式には助成金受領者ご本人にご出席頂くこととなります。原則、代理出席は認めておりません。

## 7. 個人情報取扱いについて

- ① 個人情報は利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用致します。
- ② 法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供致しません。
- ③ なお、応募頂くにあたっては、WEB システムに入力頂いた情報について、本財団の WEB システムを運営するシステム会社が取扱うことにご同意頂いたものとします。

## 8. 反社会的勢力からの応募について

反社会的勢力および反社会的勢力と関係すると認められる個人もしくは法人からの応募は受け付けられません。

## 9. 問い合わせ先

お問い合わせは、原則メールでお願いします。なお、マイページを取得されている場合は、ログイン ID を記載して下さい。

公益財団法人 三菱財団事務局  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2 丁目 3 番 1 号（三菱商事ビル 21 階）  
E-mail. [info@mitsubishi-zaidan.jp](mailto:info@mitsubishi-zaidan.jp)  
Tel. (03) 3214-5754

以上

2021 年 11 月

公益財団法人三菱財団

## 第50回（2019年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	一般社団法人日本司法通訳士連合会 (JLIA) 代表理事 天海 浪漫 (あまみ ろまん)	日本における「司法通訳士」資格認定システムの開発	1,700,000円
2	神奈川県	東海大学健康学部 講師 市川 享子 (いちかわ きょうこ)	共生社会構築実践のひとつとしての、サービス・ラーニング評価方法の開発	1,200,000円
3	神奈川県	東海大学医学部 教授 井上 玲子 (いのうえ れいこ)	小児がんピアサポーター養成研修会修了生によるプログラム評価及び全国小児がん拠点病院での研修事業の構築	1,700,000円
4	京都府	京都大学大学院医学研究科 教授 今中 雄一 (いまなか ゆういち)	介護現場におけるリスクとクライシスのマネジメントに関する組織文化の可視化と変化の要因	3,400,000円
5	兵庫県	兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 梅田 麻希 (うめだ まき)	身体合併症を有する精神障害者に対する急性期医療：ミックスドメソッドによる公平で効果的な医療ケアの検討	2,200,000円
6	新潟県	上越教育大学大学院学校教育研究科 助教 大宮 宗一郎 (おおみや そういちろう)	精神保健福祉センターにおいて薬物依存回復プログラムを提供する社会的意義についての研究	2,900,000円
7	東京都	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 室長 加賀 佳美 (かが よしみ)	限局性学習症児におけるワーキングメモリ障害の病態解明とその支援プログラムの開発	1,300,000円
8	広島県	特定非営利活動法人風の家 理事長 大原 嘉樹 (おおはら よしき)	自立が困難な矯正施設退所者の社会復帰に資する動的要因の保護因子に関する調査研究事業	1,500,000円
9	東京都	国立成育医療研究センター臓器移植センター 研究員 金澤 郁恵 (かなざわ いくえ)	小児肝移植患者における青年期以降の日常生活の実態と支援ニーズに関する研究	1,300,000円
10	大阪府	大阪教育大学特別支援教育講座 特任教授 金森 裕治 (かなもり ゆうじ)	ブラジル人の児童に対する日本語指導におけるデジタル教材の開発	2,000,000円
11	兵庫県	全国頸髄損傷者連絡会 会長 鴨治 慎吾 (かもじ しんご)	頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査2020	2,350,000円
12	神奈川県	横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科 准教授 黒木 淳 (くろき まこと)	小児医療政策の社会経済インパクトに関する研究	2,900,000円
13	京都府	社会福祉法人全国手話研修センター 代表 黒崎 信幸 (くろさき のぶゆき)	こども手話検定試験 (仮称) の実施について	6,800,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	千葉県	JUMP (Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team) 代表 斎藤 久子 (さいとう ひさこ)	日本の大規模災害における身元確認システム-DVI(Disaster Victim Identification)-体制構築のための事業	1,700,000円
15	宮城県	東北大学東北アジア研究センター 教授 佐藤 源之 (さとう もとゆき)	日本の技術による人道的地雷除去とカンボジア農村の環境・経済復興支援	2,500,000円
16	千葉県	東京歯科大学市川総合病院 准教授 宗 未来 (そう みらい)	重症・遷延性の神経性やせ症患者に対する家族焦点型集団家族療法の傾向スコア分析を用いた効果検証	6,300,000円
17	東京都	東京大学先端科学技術研究センター 講師 高橋 麻衣子 (たかはし まいこ)	不登校・不登校傾向にある児童・生徒の認知特性に応じた学びの支援に向けた調査研究	1,100,000円
18	山梨県	一般社団法人星つむぎの村 代表理事 高橋 真理子 (たかはし まりこ)	病院がプラネタリウム-フライングプラネタリウムですべての人に星空を	1,700,000円
19	茨城県	筑波技術大学保健科学部 教授 巽 久行 (たつみ ひさゆき)	網膜投影を用いた情報保障による弱視向き電子白板システムの開発	2,100,000円
20	新潟県	新潟薬科大学健康推進連携センター 教授 富永 佳子 (とみなが よしこ)	地域における薬剤師と管理栄養士との連携体制(薬栄連携)の基盤構築	1,900,000円
21	東京都	一般財団法人日本福祉力検定協会企画室 室長 長田 奉公 (ながた ともひろ)	AIスピーカーを使用したパターン介護記録の実証実験	3,800,000円
22	岐阜県	岐阜保健大学看護学部 講師 中谷 こずえ (なかたに こずえ)	受刑者・元受刑者への社会復帰に根ざした行動変容を促す健康維持・増進ケア実践モデルの開発	5,200,000円
23	静岡県	やきつべの径診療所 代表理事 夏苺 郁子 (なつかり いくこ)	精神科医療が変わるには何が必要か？当事者・家族6000人の実践知と経験知を通しての提言	2,600,000円
24	大阪府	NPO法人Reジョブ大阪 理事 西村 紀子 (にしむら のりこ)	失語症者向けに、テレビ会議システムzoomを用いたオンライン言語療法の効果と問題点の研究	850,000円
25	宮城県	東北大学大学院法学研究科 助教 根岸 謙 (ねぎし けん)	任意後見契約に内在する契約関係者の利害意識についての分析-真に認知症高齢者のための制度を目指して-	1,700,000円
26	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム 研究員 野中 久美子 (のなか くみこ)	多世代住民間での自然発生的な互助が生まれる機序の解明	3,800,000円
27	茨城県	筑波大学医学医療系 講師 浜野 淳 (はまの じゅん)	在宅非がん高齢者における包括的な苦痛緩和の実態解明のためのコホート研究	2,200,000円



番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	東京都	慶應義塾大学医学部 専任講師 浜本 康夫 (はまもと やすお)	進行がん患者が「難民化」する要因に関する研究	2,400,000円
29	東京都	一般社団法人日本うつ病センター 名誉理事長 樋口 輝彦 (ひぐち てるひこ)	精神疾患治療ガイドラインと実地診療の相違の検証	5,500,000円
30	東京都	武蔵大学社会学部 准教授 人見 泰弘 (ひとみ やすひろ)	日本型難民社会統合政策の構築に向けた総合的調査研究ーインドシナ難民受け入れ事業40年間の分析から	1,500,000円
31	茨城県	筑波技術大学産業技術学部 教授 平賀 瑠美 (ひらが るみ)	聴こえる音楽、好きな音楽を見つけるー聴覚障害者の音楽聴取の機会を増やすために	1,200,000円
32	東京都	東京農工大学大学院工学府 博士後期課程 平松 勲 (ひらまつ いさお)	視覚障害者のICT分野の教育訓練を支援するシステムに関する研究	2,100,000円
33	東京都	一般社団法人日本医療通訳士会 代表理事 藤上 理奈 (ふじがみ りな)	統合的、実践的医療通訳教材創出のための中国語医療通訳総合データベースの構築	750,000円
34	東京都	聖路加国際大学公衆衛生大学院 講師 星野 絵里 (ほしの えり)	AI搭載のスマホアプリによる胆汁うっ滞系小児慢性特定疾病のスクリーニング法の開発と実証研究	1,700,000円
35	長野県	信州大学医学部 教授 本田 秀夫 (ほんだ ひでお)	保健・福祉・医療のネットワークを活用した発達障害の「グレーゾーン」の子どもへの保護者支援に関する研究	4,250,000円
36	埼玉県	埼玉医科大学医学部 教授 前田 卓哉 (まえだ たくや)	我が国に居住する南米出身者のシャーガス病罹患状況調査と診療支援体制の構築	1,200,000円
37	大阪府	特定非営利活動法人チャイルド・リソース・センター 代表理事 宮口 智恵 (みやぐち ともえ)	児童虐待による分離後の親子関係再構築支援に関する支援モデルの研究	2,300,000円
38	茨城県	筑波大学医学医療系 准教授 柳 久子 (やなぎ ひさこ)	外国人介護職者の持つ仕事への情熱と幸福感に基づく人材育成に関する研究	850,000円
39	石川県	NPO法人あかりプロジェクト 代表理事 山口 いづみ (やまぐち いづみ)	家から地域へ！摂食障害者の居場所づくり2ndステップー思わず外に出たくなるプログラム2種の開発	1,550,000円
40	東京都	特定非営利活動法人ポルノ被害と性暴力を考える会 理事長 金尻 カズナ (かなじり かずな)	意に反し拡散した性的画像記録の削除要請自動化プロジェクト	3,800,000円
41	東京都	認定特定非営利活動法人NPO会計税務専門家ネットワーク 理事長 脇坂 誠也 (わきさか せいや)	公益法人等が実施する福祉サービスに関する法人税課税問題の調査研究	2,200,000円
合 計				41 件 100,000,000円

## 第51回（2020年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	神奈川県	神奈川歯科大学大学院歯学研究科 准教授 青山 典生（あおやま のりお）	口腔の健康をはじめとした生活スタイルの改善によって循環器疾患を予防できるか	1,800,000円
2	北海道	社会福祉法人北海道療育園診療部 医員 浅井 洋子（あさい ひろこ）	重症心身障害児・者における生涯学習の方法論の模索と学習効果の評価方法の確立に向けた予備研究	1,300,000円
3	京都府	京都府立医科大学大学院医学研究科 客員講師 綾仁 信貴（あやに のぶたか）	統合失調症患者の周術期での精神症状悪化予測因子に関する研究－統合失調症患者の治療機会均等を目指して－	2,000,000円
4	東京都	特定非営利活動法人電子メディアと知識の箱デジコム 理事長 新井 千晶（あらい ちあき）	子育てママと育メンのためのスマホアプリ制作で先端技術の習得！ウェブでプログラミング独学プロジェクト	3,200,000円
5	宮城県	東北工業大学建築学部 教授 石井 敏（いしい さとし）	環境移行調査によるユニット型特別養護老人ホームにおけるユニットケアの実践とその定着に関する実証的研究	1,600,000円
6	北海道	北海道大学学生相談総合センター 准教授 石井 治恵（いしい はるえ）	全国大学学生相談機関における危機対応－現状課題の把握と基本指針の作成－	2,800,000円
7	佐賀県	佐賀大学教育学部 教授 井上 伸一（いのうえ しんいち）	AIを導入して歩行動作を解析し歩行能力を簡便に評価するシステムの開発－介護予防の効果を測る新手法－	2,000,000円
8	東京都	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣（いりえ ひでつぐ）	ウェアラブルカメラによる3Dスペースセンシングと触覚通知による、視覚障害者のための屋内ナビゲーションシステムの開発	4,000,000円
9	東京都	新渡戸記念中野総合病院脳神経内科 部長 内原 俊記（うちはら としき）	おだやかな看取りを明日に活かすみち：神経疾患療養者の在宅看取りからの病理解剖	4,000,000円
10	栃木県	獨協医科大学国際協力支援センター 助教 内山 浩志（うちやま こうじ）	炎症性腸疾患患者の寛解維持・増悪予防のための防災備蓄食品の開発「独・協・飯」プロジェクト	3,500,000円
11	東京都	国立成育医療研究センター社会医学研究部 部長 浦山 ケビン（うらやま けびん）	小児がん患者・経験者の心理社会的困難共有ツールの開発－仲間を感じる・自分を想うプロジェクト－	6,700,000円
12	京都府	同志社大学商学部 准教授 瓜生原 葉子（うりゅうはら ようこ）	ソーシャルマーケティングの最適化プロセスとその普及に関する研究	3,200,000円
13	愛媛県	愛媛大学教育学部 教授 大西 義浩（おおにし よしひろ）	データ科学で挑む児童生徒のメンタルヘルス状況のモニタリング	3,200,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	東京都	昭和女子大学人間文化学部 准教授 大場 美和子 (おおば みわこ)	日本人介護職員の経験知による指導と技能実習生の教え合いを活用した介護人材育成プログラムの構築	2,000,000円
15	埼玉県	国立武蔵野学院医務課 厚生労働技官 大原 天青 (おおはら たかはる)	発達障害・虐待・非行が重複する子ども・家族に対する支援システムの構築と実証的評価	2,500,000円
16	東京都	慶應義塾大学医学部 特任助教 梶田 大樹 (かじた ひろき)	口唇口蓋裂児の成長に寄り添い、診療の質の向上を目指すデジタルデータ・アーカイビングモデルの構築	6,000,000円
17	東京都	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 リサーチフェロー 川口 敬之 (かわぐち たかゆき)	精神障害当事者と支援者との共創によるリカバリー促進に向けた協働意思決定モデルの構築	2,100,000円
18	東京都	一橋大学大学院社会学研究科 科学研究費研究員 菊池 美名子 (きくち みなこ)	女性薬物使用者の回復支援と予防的介入に向けた支援ニーズ調査研究	700,000円
19	愛知県	日本福祉大学社会福祉学部 助教 菊池 遼 (きくち りょう)	災害時に支援のミスマッチを解消するための調査研究	2,900,000円
20	京都府	京都大学大学院医学研究科 助教 木村 亮 (きむら りょう)	ウィリアムズ症候群のライフステージに応じた支援に関する研究	1,800,000円
21	東京都	国立国際医療研究センター国際感染症センター 国際感染症対策室医長 忽那 賢志 (くつな さとし)	長期在住外国人を守るための、ワクチンで予防可能な疾患に対するリスク分析と実態調査	3,200,000円
22	京都府	京都橘大学健康科学部 助教 合田 明生 (ごうだ あきお)	簡便に実施可能な超早期の認知機能低下を検出するアプリケーションの開発	4,500,000円
23	東京都	筑波大学人間系附属学校教育局 准教授 小島 道生 (こじま みちお)	知的・発達障害者のセルフアドボカシースキル獲得支援プログラムの開発・普及	1,400,000円
24	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム 研究副部長 島田 千穂 (しまだ ちほ)	看取りを視野に入れたケアマネジメントを可能にするアセスメントとプラン作成方法、研修方法の検討	1,300,000円
25	東京都	大正大学社会共生学部 専任講師 高瀬 顕功 (たかせ あきのり)	潜在的な地域資源を活用した地域包括ケアシステムの強靱化	1,400,000円
26	東京都	ツイズエイド～多胎支援プロジェクト～ 代表 高原 恵子 (たかはら けいこ)	多胎児を妊娠中の家族や育児開始初期の家族に対する支援方法の開発	1,100,000円
27	東京都	国立精神・神経医療研究センター病院第二精神診療部 医師 竹田 康二 (たけだ こうじ)	医療観察法病棟における社会復帰の促進を目的とした情報アクセス環境改善のためのプロジェクト	4,000,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	宮崎県	宮崎大学医学部 助教 田上 博喜 (たのうえ ひろき)	精神科訪問看護における社会的認知機能に対するリハビリテーションの導入と効果検証	1,300,000円
29	東京都	国立がん研究センターがん対策情報センター 研究員 土屋 雅子 (つちや みやこ)	一般市民のがんに対する偏見軽減に向けたウェブ体験学習プログラム「友人サポーター」の実用性および効果検証	2,200,000円
30	高知県	高知大学医学部附属病院 特任講師 福田 仁 (ふくだ ひとし)	地域悉皆登録に基づいた急性期脳梗塞患者受診遅れの改善を目指す研究	3,000,000円
31	愛知県	名古屋大学総合保健体育科学センター 准教授 古橋 忠晃 (ふるはし ただあき)	フランスの精神科訪問医療制度を日本の「ひきこもり」の医療制度へ導入する試み	2,400,000円
32	東京都	東京都立小児総合医療センター血液・腫瘍科 医員 松井 基浩 (まつい もとひろ)	AYA世代がん患者が全国どこにいても孤立することのない社会実現のための全国ネットワークシステム開発研究	3,000,000円
33	京都府	三島 亜紀子 (みしま あきこ)	シックハウス症候群・化学物質過敏症患者の家族支援プログラムの開発	900,000円
34	岡山県	川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 講師 三田 岳彦 (みた たけひこ)	在宅高齢者の人工的水分・栄養補給(AHN)導入後のADLとQOL－国際生活機能分類を活用した包括的評価－	2,000,000円
35	東京都	東京都立大学大学教育センター 教授 村松 健司 (むらまつ けんじ)	児童養護施設におけるスタッフの離職要因の分析	2,000,000円
36	東京都	特定非営利活動法人ReBit 代表理事 薬師 実芳 (やくし みか)	多様な性に関する適切な記載を、次期教科書に。発達段階にあわせた教育効果研究及びアドボカシー事業	2,800,000円
37	東京都	特定非営利活動法人Safe Kids Japan 理事長 山中 龍宏 (やまなか たつひろ)	ベランダ等高所からの子どもの転落を予防する－研究者、事業者、保護者と共に目指す安全な町、安全な建物	2,500,000円
38	栃木県	自治医科大学大学院医学研究科 准教授 山邊 昭則 (やまべ あきのり)	SDGs推進を契機とした地域社会の持続的発展のための教育開発研究－医師養成の観点から	1,700,000円
39	東京都	明星大学デザイン学部 准教授 吉岡 聖美 (よしおか きよみ)	VRを活用したリハビリテーションプログラムの開発と実践研究	2,000,000円
合 計				100,000,000円

## 第52回（2021年度）三菱財団社会福祉事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	宮城県	東北大学大学院医学系研究科 助教 青山 真帆（あおやま まほ）	がん患者遺族のうつ・複雑性悲嘆の予測方法の開発：遺族コホート調査	1,350,000円
2	東京都	一般社団法人日本司法通訳士連合会 代表理事 天海 浪漫（あまみ ろまん）	日本における「法廷通訳の正確性」の検証及び、「司法通訳士資格認定システム」の普及	2,900,000円
3	東京都	東京都立松沢病院精神科医局 医員 荒川 育子（あらかわ いくこ）	触法行為歴のある統合失調症患者の再犯防止・社会復帰に資する帰属測定ツールの開発、測定した帰属に病状が及ぼす影響の統計解析	700,000円
4	滋賀県	日本学術振興会(特別研究員RPD) 研究員 飯田 奈美子（いいた なみこ）	手話通訳における介入行為教育と通訳ユーザー教育システムの構築	2,200,000円
5	千葉県	千葉大学予防医学センター 特任研究員 井手 一茂（いで かずしげ）	ICTを活用した新たな地域づくりによる介護予防モデル構築・社会実装と中・長期評価に関する開拓的調査研究	4,200,000円
6	神奈川県	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授 仰木 裕嗣（おおぎ ゆうじ）	障害者による3Dモノづくりを通じた共生社会におけるSTEAM教育実践	3,000,000円
7	京都府	京都大学大学院医学研究科 講師 大滝 千文（おおたき ちふみ）	産科混合病棟の看護の可視化：看護行為の自動計測の実現により可能となる病棟全体の安全性の構築	1,600,000円
8	東京都	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 教授 緒方 泰子（おがた やすこ）	看護職が医療を支え続けるために必要な組織及び個人特性の解明と応用：心理的安全性とレジリエンスの可能性	2,500,000円
9	兵庫県	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 博士課程 岡部 友峻（おかべ ゆうしゅん）	強迫的性行動症に対する心理社会支援法の確立に向けたアセスメントツールの開発と実態調査	900,000円
10	千葉県	国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生（おがわ あさお）	認知症の人の医療における意思決定支援の実態把握と支援の質の向上を目指した手引きの開発	2,500,000円
11	東京都	大妻女子大学人間関係学部 教授 小川 浩（おがわ ひろし）	発達障害及びグレーゾーン学生のための低年次向けキャリア教育プログラムの開発と実施	1,400,000円
12	兵庫県	神戸市立工業高等専門学校電子工学科 准教授 尾山 匡浩（おやま ただひろ）	生体信号によるサイレントスピーチインタフェースの開発	2,800,000円
13	大阪府	大阪大学高等共創研究院 教授 蔭山 正子（かげやま まさこ）	精神障がいピアアドボケイトのニーズに基づく養成研修プログラムの作成	3,000,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	東京都	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 教授 柏木 聖代 (かしわぎ まさよ)	高齢看護師の継続雇用の実態と継続雇用に関連する組織要因に関する実証研究	4,400,000円
15	東京都	上智大学総合人間科学部 准教授 鏑木 奈津子 (かぶらき なつこ)	コロナ禍における生活困窮者自立支援の実態と今後の方策ー全国調査と歴史的考察を踏まえてー	2,700,000円
16	長野県	信州大学医学部 特任助教 亀井 智泉 (かめい ちせん)	看護大学等医療人材育成機関を人工呼吸器使用等の要電源要支援者の災害時避難所とする試み	1,500,000円
17	岡山県	岡山大学学術研究院自然科学学域 教授 岸本 昭 (きしもと あきら)	抗ウイルス性が持続するセラミックス点字の実用的形成方法の開発	2,400,000円
18	熊本県	全国KOSEN支援機器開発ネットワーク 代表 清田 公保 (きよた きみやす)	重度障害者の自立就労を実現するための視線入力装置で操作するセルフ&リモートケアロボットの社会実証	3,600,000円
19	神奈川県	横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部 主任 児玉 真一 (こだま しんいち)	小児用電動車椅子導入につなげるための試行用電動化装置の開発	3,000,000円
20	東京都	特定非営利活動法人ろう・難聴中高生の学習支援の会 理事長 斉藤 みか (さいとう みか)	多分野連携によるろう青少年の文化教育・コミュニケーション教育と仲間づくり支援	1,700,000円
21	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム 研究員 桜井 良太 (さくらい りょうた)	高齢者が転倒しやすい障害物とは？ー形状および色相特性に着目した検討ー	2,400,000円
22	東京都	帝京短期大学こども教育学科 講師 白取 真実 (しらとり まみ)	保育士用アサーショントレーニングプログラムの開発と有効性の検証ーオンライン研修システムを利用してー	1,250,000円
23	東京都	成蹊大学理工学部 教授 鈴木 誠一 (すずき せいいち)	VSLAM技術を活用した視覚障がい者のための移動時における危険回避支援システムの開発	3,200,000円
24	広島県	特定非営利活動法人非正規労働相談センターひろしま 代表理事 土屋 信三 (つちや しんぞう)	外国人労働者のエンパワーメントが築く多文化共生社会	2,000,000円
25	東京都	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構研究部 研究員 土屋 瑠見子 (つちや るみこ)	職種横断的な住宅改修教育システムの構築に向けた医療・介護ビッグデータと住宅改修理由書の連結解析研究	2,900,000円
26	福岡県	日本赤十字九州国際看護大学看護学部 講師 西尾 美登里 (にしお みどり)	医学系大学生の演習時模擬患者に貢献する高齢者グループの構築ー高齢者の健康と自尊感情の変化ー	2,500,000円
27	大阪府	NPO法人Reジョブ大阪 理事長 西村 紀子 (にしむら のりこ)	軽度高次脳機能障害者の就労における職種別こまりごと調査と、評価・情報提供ツールの作成	1,400,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額	
28	大阪府	大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 野尻 英一 (のじり えいいち)	アバターシステムを用いたオンライン コミュニティ(自閉症学超会議!)の 構築	4,100,000円	
29	東京都	社会福祉法人かがやき会 理事長 林 和功 (はやし かずのり)	地域で暮らす精神障害者の日常を長期的・継続的に支えるケアの技術の明確化	1,200,000円	
30	神奈川県	関東学院大学看護学研究所 客員研究員 深谷 安子 (ふかや やすこ)	要介護高齢者のための生活世界コミュニケーションスケール	800,000円	
31	東京都	慶應義塾大学文学部 准教授 藤澤 啓子 (ふじさわ けいこ)	保育環境評価スケールをもちいた保育の質向上プログラムの開発	3,300,000円	
32	東京都	日本医科大学医学部 教授 布施 明 (ふせ あきら)	ブラックアウト等における在宅医療患者の緊急避難対応シミュレーション・システムの開発	8,000,000円	
33	長崎県	長崎大学原爆後障害医療研究所 助教 三嶋 博之 (みしま ひろゆき)	先天性の障がいを持つ方々のためのことばと身体運動の遠隔トレーニングとAI評価システムの開発	2,000,000円	
34	長野県	長野大学社会福祉学部 准教授 矢野 亮 (やの りょう)	限界集落における社会福祉政策の実効性に関する研究ー長野県A村を中心に	800,000円	
35	東京都	成蹊大学理工学部 助教 山添 崇 (やまぞえ たかし)	ディスレクシアの識字学習における質感認知の効果検証	1,400,000円	
36	大阪府	大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所 教授 横井 賀津志 (よこい かつし)	高齢者の生活行為に組み込んだ、遠隔実施可能な転倒予防に着目した評価・介入法の構築	1,500,000円	
37	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 涌井 智子 (わくい ともこ)	認知症介護における睡眠障害の実態把握とICT技術を用いたテーラーメイド支援モデルの検討	2,900,000円	
合 計				37 件	90,000,000円